

深谷 優梨

岡山大学

学術研究院環境生命自然科学学域(工)

助教

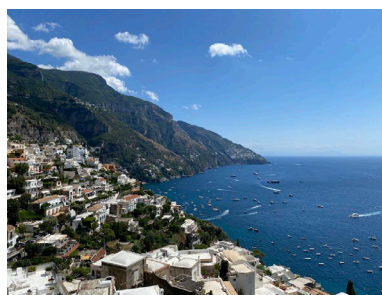


2024年4月より、学術研究院環境生命自然科学学域(工)において助教に着任した深谷優梨と申します。私は2020年3月に博士号を取得した後、日本学術振興会特別研究員PD、京都大学基礎物理学研究所特定研究員を経て、2021年6月から2024年3月までの約3年間、イタリアのサレルノ大学 CNR-SPIN 研究所でポスドクとして研究に従事しておりました。サレルノはイタリアでも南部、ナポリの隣県の街で、近くにはアマルフィ海岸がある風光明媚な場所です。イタリアに渡航した当時はコロナ真最中で、入国後にも隔離があるなど制限がありました。しかし、その困難を乗り越えてイタリアで研究を行うことができました。

私が行っている研究は、物理の中でも物性物理と呼ばれる分野に属します。その中に、電子や原子が巨視的に集まることで強磁性などの劇的な性質が現れる、「凝集系の量子物理」があります。この凝集系の量子物理のうち、私は超伝導とよばれる、低温で電気抵抗が消失する相転移現象を取り扱っております。超伝導は金属だけでなく銅酸化物と呼ばれるセラミックで実現しますが、実はそれぞれ実現している超伝導が異なるのです。私の研究では、さまざまな種類の超伝導がどのようになっているか、その超伝導状態によって生じる現象を理論の立場から調べています。私の研究は、主にコンピュータで計算して行います。その時に、プログラミングやLinux等の知識が必要となります。そのため、岡山大学ではプログラミングを教える予定です。

趣味に関する話では、小さい頃より大好きである星のカービィのゲームやグッズ収集を非常に好んでいます。ゲーム以外ですと、スポーツ配信を見るのが好きです。夏季はプロ野球、冬季はスキージャンプやフィギュアスケートを観ております。また、健康のために、岡山に来てからスポーツジムに通うようにしております。

経歴上、教育についてはまだまだ不慣れなところがありますが、私も研究だけでなく教育もしっかり行っていきたいと思っております。それでは、よろしくお願ひ申し上げます。



アマルフィ海岸(ポジターノ)